

源アキナヒノサカニ ○隆ナルモトクネ

盛チカ之ノ柱ハシ礎イソ日ヒ上ノ ○

卓タク然ゼン規キ則ソクルルキキンンタタ

○盟メイ主シュ ○秀シュ

才サイ之ノ保ホ甲コウ ○

○式シキ金キン差サイ入イル

加カ入ニウ金キン

入ニウ社シャ致シ

加カ入ニウ

願ガン度タク日ヒ上ノ ○御ギ依イ

頼ライ申シン上ノ候コウ

○類ルイ語ゴ

花クハ書ショ謹キン見ケン仕シ候コウ

○朶ダ雲ウン披ヒ

見ケン致シ候コウ日ヒ上ノ ○設セツ

營エイ ○該ガイ社シャ之ノ

義ギ ○与ヨ他タ

社シャ大ダイ異イ

益イキ盛セイ方ホウ程ケイ子シ光クワウ

全ケン規キ約ヤク書ショ正テイ正テイ

放フウ然ゼン就ジュ

株ク金キン及キ入ニウ費ヒ小コ收シュ

加カ入ニウ社シャ致シ

花クハ書ショ謹キン見ケン仕シ候コウ

○朶ダ雲ウン披ヒ

見ケン致シ候コウ日ヒ上ノ ○設セツ

營エイ ○該ガイ社シャ之ノ

義ギ ○与ヨ他タ



○規則等大異

○人負幾

名限

根不許加入

○同盟議

論之上

○遂衆評候上

○復酬可申

○御報申候

オラヤ

○類語

雅君子 ○賢兄

日上 ○吟兄 日上 ○

比日 ○頃者

日上 ○近属 日上 ○

大阪新報

○朝日新聞

○購求被成候

減年程の決断

石巻の幸ひ某君

不教令の官通社

あ波の後店加入

何分協同の確報

下付の上

新聞交換社文

待見色通政黨新

少石の富の由承り

枕の少年東京雜誌



交通用文

由ヨシ ○拙者セツシヤ

多タ ○賤生センセイ 日上ニツ ○

郵便新聞ユウビンシンブン 名ナ

○報知新聞ホウチシンブン 日上ニツ

○相求アヒモト オル ○互ゴ

觀仕度カンシタ カナイ ○

片書御覽申カタガミミヤウシ

上ウ 候カウ テガミニテオウカ ○

○以郵書相尋ユウショウソウジン

○類語

新紙交換之由シンシカウカンノユ

新聞互シンブンゴ

觀之趣カンシノソ 日上ニツ ○及オキ

依頼イライ オクニミ ○小コ

子之所好コノトコロノコト 多クシモ

○野生ヤシ 必有其キヨクアリシ

意イ 目メ ○甚不次セキフジ

第ダイ 半破ハンハ

交通用文

購求致居コウモトメル 有甚は意アリセキハイ

心ココロ 變觀カヘテミル

疎ス 如向カモト

才書サカミ 覽ミ 中ナカ 意イ 再相サマシ

互見ゴケン

新紙シンシ 交換カウカン 之由ノユ

中越ナカノセ 亦オモ 來キ 和ワ 意イ

其意ソノイ 旨シ 月心ツキココロ 休ユ

子コ 通トウ 布フ 目メ 分ブン 意イ 行ユク

托タク 意イ 答コタヘ 有アリ 親カタチ







籃ラン一ナシ ○葛粉カカ一フニ

袋カク多ヒト ○炎凉不エン

常ツネトノ又リ ○寒暖カン

無度ムド日ニ上シ ○乞保コフ

養ヤウナサレ ○衛生エイ

是祈コレ日ニ上シ ○宜加ヨク

愛畜アイナサレ

類語

不佞累日卧病

心ココロ輕ケシ少シ進シン皇スミ位イ時トキ

休ユル兔角ウサギノツノ不順フジュン保ホ養ヤウ

是コレ祈イノル日ニ上シ宜ヨク加ク

愛畜アイ畜シヤク

不佞フネイ累ルイ日ジツ卧フス病ヤミ

沈疴チンカ

久不瘳クフシウ日ニ上シ ○免マカ

違色イニノカレシ ○免マカ

黄泉之客ヨミノカキ日ニ上シ ○

大典科テンドウヤシ ○有イ

名之杏林ナノキョウリン ○有イ

進食事シンシヨウジ ○有イ

忽賜佳品クツチキタツカ ○有イ

蒙見舞モウケンマシ 日ニ上シ

以今度之免イマノタビノマカ 治瘳チシウ

予オノ之ノ免マカ 悟ワカ 致チ

山ヤマ之ノ某ノ先生ノ後ノ後ノ後ノ

後ノ後ノ後ノ之ノ性ノ年ノ之ノ免ノ

物モノ之ノ珍ノ菓ノ之ノ免ノ



○芳慮ハクリヨ○厚カフ

情シヨウ上ジョウ○感謝カンシャ可カ

深フカク○叩謝コウシャ

○鳴謝メイシャ日上ジョウ

○類語

聞足下大名焜キクソクカダイメイコン

耀ヤウス○先生センセイ

之高間灌耳ノカウブンアララミミラ日上ジョウ

○久欽嘉聞キウキンカカ日上ジョウ

○感冒之氣味カンモウノキミ

○惡寒甚上アクカンシジョウ

○眠食不安ミンシヨクスヤスナラ

○待勇健マツテユウケン

妄受寒疾マシヤマヒ

○御来問ゴライモン

奉乞候ホウキコウ

○類語

貴札持聞キシツチキキ

友誼トウジ厚アツ實トク存ゾン

感謝カンシャ礼レ弟テイ

○乞コ医文イブ

卒ソツ絶ゼツ影カゲ中ナカのノ开カイ少ショウ字ジ

明メイのノありアリ後ゴ熱ネツ且ツ胃イ

痛イタのノ困コン印イン仕シのノ苦ク心シン

汚キナ苦ク勞ラウ了リョウ應オウ汚キナ之ノ寄キ

汗アセ下ゲ夜ヤ不フ解カ不フ恭キョウ

○百ヒャク還エン素ソ

生ナマ者モノおオ見ミ仕シのノ身ミ



○琅翰披吟ロウカンヒイシン

○偶然不快コウゼンフクタイ

○貴躰キタカラ

○露之疾ツキノヤマト

○老診察ラウシニョウ

○療治リョウヂ

○鞅掌中キョウシヤウチュウ

○預他ヨヘ

○歸宅後昇門キキタクノチノトモノカド

○類語

○尊父ソンプ

○捐館舍ケンカンシャ

○空為泉客カラナリノイハヒ

○上鬼録ウヘキルキ

○醫藥無功イヤクムコウ

○聞訃愕然キクボクガクゼン

○愁傷シュウシヤウ

○

法不快診察ホウフクタイシニョウ

他家仕カヘノチノトモノカド

居診中イニョウチュウ

源次ゲンジ

可付カツ

御尊父ミソンプ

病年ヤマト

驚入オドロク

傷イタム

源次ゲンジ

可付カツ

御尊父ミソンプ

病年ヤマト







目上 ○ 受祭儀 カウ  
 ○ 厚蒙賜儀 カウ  
 目上 ○ 兼花美之 カウ  
 供物 カウ ○ 明 カウ  
 外日 カウ ○ 大後 カウ  
 日 カウ ○ 合棺 カウ  
 ○ 掩棺 カウ 目上 ○ 乞 カウ  
 指揮 カウ カウ  
 類語尾

片右有月四日午後五時  
 葬儀送仕度也  
 此書芳子朝古法越  
 下萬子法團旋  
 願了之白

諸願之書式

一 建家願 カウ 何ヶ所  
 開口 何間  
 與行 何間  
 右ハ便宜ニヨリ私居 カウ  
 宅地内空地ハ又所有 カウ  
 区内何番地ハ本月何 カウ  
 日ヨリ来ル何月何日マ カウ  
 テ日數何日間往来 カウ

諸證文之部

一 預り金之証 カウ  
 証 カウ  
 一人金何百圓也 カウ 但一元金何圓月  
 右正受取形置於委確實也然 カウ  
 ル上も前書も利子相加本金入 カウ  
 用節も多々支返派可法 カウ  
 為後証信如件 カウ



障 碍 不 相 成 様 板 囲

致 度 此 段 御 願 申 上

候 也

何 郡 何 村 何 番 地

月 日 何 某 印

前 書 通 相 違 無 之 候 也

戸 長

何 之 誰 印

郡 長 宛

何 府 縣 何 國 何 町 村

何 人 何 之 誰 印

何 人 何 某 印

何 誰 殿

無 利 足 額 之 金 証 書

証

金 何 圓 也

右 之 通 人 之 會 上 之 利 息

預 金 証 文 金 高 係 十 日 以 上 一 枚 使 用 為 サ ル 明 文 無 定 分 十 日 毎 一 枚 印 紙 加 入 貼 用 ス ベシ

板 囲 御 願

一 何 區 何 町 何 番 地

所 有 地 之 内 表 口 何 間 裏 行 何 間

建 家 新 築 仕 度 去

ル 幾 日 ヨリ 幾 日 マデ

日 數 何 十 日 間 表 通

軒 先 限 り 板 囲 仕 り

度 尤 モ 往 来 ノ 妨 ゲ 不

相 成 様 可 仕 候 間 此

之 額 之 置 及 交 換 之 也 亦 入 用

節 々 何 時 亦 亦 亦 亦 亦

美 一 進 滯 止 之 何 人 之 者 之 吃 度

不 致 漏 傳 之 為 之 係 之 事 件

何 府 縣 何 國 何 町 村 何 番 地

何 之 誰 印

何 人 何 之 某 印

何 某 殿



段奉願候也

何區何村何番地

月日 何之誰印

前書之通申出候ニ付

奥印致シ候也

戸長

何某印

警察署宛

③新規溜池堀立願

③金子借用之證

證

一金何千圓也

但利息金何事有下月

右之證授要用之ニ商用券也

借用中之交定之也

利息何月幾之限り定之利息事係

元利何事亦通之致返爲片萬一

不致返納爲後之借用証係也

何府縣下何町村何番地

借主

何之誰



借人

何之某



何誰殿

④各利子重借用證

證

一金何圓也

一當村耕地從來地味

惡敷且平坦ナラズ高

原山地之場所多ク就

中田方川懸り差水

等無之僅ニ井水而已

ニテ年々早魃之憂

甚ナカラス何分農業

永續之見込ニ無覺束

兼々養水取設ケ度

交通角



昔慮仕居候得共近  
 年凶作ニ彼是未著  
 手ノ方法難相立候間  
 左様御憐願被成下  
 別糸苗面之通り新  
 規井手何ヶ所堀立ノ  
 儀奉伏願候依テ百  
 性惣代戸長連印願  
 書奉差上候也

右ノ當何年何月幾々来  
 何年何月幾々也  
 借用亦交確實也  
 延致其ノ  
 此度無債  
 何郡何所村何高代  
 借主 何某  
 何人 何誰

何郡何村
月日惣代某印
戸長
何誰印
郡長宛
④道路営繕願
一何郡何村何丁目ヨ
リ何丁目マデ道路破
損致シ往来人々難渋

何某殿  
 五月賤金借用修書  
 一人金何百圓也  
 右ノ金何月幾々を以て  
 幾日ノ来ノ何年何月幾々  
 何圓宛  
 如左ノ書此度返納  
 百三十五



不勘右ニツキ寂寄有

志ノ者ドモ私費ニテ

修繕致度儀申出テ

候間本月何日ヨリ

日敷何日間牛馬車

止掲示仕度此段奉

願候也

何郡何村

月日 戸長

某印

警察署宛

⑤ 家根者板願

一私義何商之者ニ御

座候處右商業目標

為メ居宅屋上ハ別紙

番面ノ通り者板相

設ケ度此段奉願候

也

之度ニシテお滞り及音の本人係

らる債人ノ漏債ニ付、為後

確證申付

何府縣何所村何番地

借主

何之誰



目付人

何某



何之某殿

⑥ 抵當金借用御

① 貸

一金何萬圓也 但利是キト月何程

此抵當品

何品

何程

何品

何程

右ノ金子抵當品差入事何年

何月何日限リ以テ借用御出候

実心也 總ニ大利益金何程也







交通用文

戸長

何之某印

警察署宛

⑦酒類小賣願

一私義此度酒小賣

營業仕度依之御鑑

札御下ゲ渡シ被下度

奉願候尤モ御賣等

決シテ仕間敷候也

何通

右に地券証抄若くは借取書印百

圓用迄有右書状正形中元

元利等悉皆返却せしむ

等由通返却下申知

何所村何番地

何年何月何日

何之誰印

⑧物品貸入金子借用証

一金何圓也 但利も重く月分何程定

右通貸入後一書面を金子

借入金會より借取借用し交還す

也貸入期限も重く本日何

月幾日迄前より何程加物

品引換返金下候一書状等

返金も重く右貸入致し

何郡何村番地

月日 何之誰印

前書之通

戸長

何之某印

郡長宛

⑧行商御鑑札願

一私義今般何小賣

營業仕度候ニテ某

交通用文



九 雇入ニ販賣為致  
度奉存候間行商  
御鑑札御下ゲ渡シ  
被下度此段奉願上  
候也

何郡何村番地

月日 何之誰印

戸長

何之誰印

郡長宛

九 居室軒先キラシ

プ設置願

一私義何々業ノモノニ

候處往來安全ノ為

メ小屋根軒先キハ瓦

スランプ設置毎夜点

燈仕リ度尤モ火ノ元大

切ニ取扱ヒ可仕依テ

百三十九

物取奉新ノ貴殿ノ所有  
為候日係々如件

何府縣何郡何町村何番地

何之誰印

何之誰印

何某殿

九 諸品書入ニ係

印紙 証

一全何園也

但此書入品 何某

右ノ書入ノ書面ニ係為諸人

立合ニ係為取借目付書

確年如西陽ノ東ノ日

月集りて元利ノ旨候事

若し其旨ノ事ノ為事











前書之通、

戸長

何之誰印

郡長宛

印紙賣捌願

一私儀明治七年九月

中御改正印帛取扱

御布告ノ趣ニ基ツキ

賣捌キ仕度尤モ御

前書之通、  
戸長  
何之誰印  
郡長宛  
印紙賣捌願  
一私儀明治七年九月  
中御改正印帛取扱  
御布告ノ趣ニ基ツキ  
賣捌キ仕度尤モ御  
何之誰印  
郡長宛  
印紙賣捌願  
一私儀明治七年九月  
中御改正印帛取扱  
御布告ノ趣ニ基ツキ  
賣捌キ仕度尤モ御

何府縣迄郡町村迄此

規則堅ク相守可申

候間何卒御許容

被成下度様奉願上

候也

何郡何町番地

賣捌願人

月日 何之誰印

住所

証人

規則堅ク相守可申  
候間何卒御許容  
被成下度様奉願上  
候也  
何郡何町番地  
賣捌願人  
月日 何之誰印  
住所  
証人  
何府縣迄郡町村迄此  
何之誰印  
郡長宛  
印紙賣捌願  
一私儀明治七年九月  
中御改正印帛取扱  
御布告ノ趣ニ基ツキ  
賣捌キ仕度尤モ御



何ノ某印

前書之通……

戸長

何之誰印

郡長宛

⑤ 棄子貫受願

一私義家族何人何

商ノ者ニ御座候処イ

多一子無之候ニ付去

何日當村内何番地ニ

於テ有之候棄子貫ヒ

受愛育生長仕度

尤モ病氣等ノ節ハ其

時々御届可申上候

間何卒御聞届ケ被

下度奉願上候

何郡何村何番地

月日 何之誰印

交通月

何ノ某印

前書之通……

戸長

何之誰印

郡長宛

⑤ 棄子貫受願

一私義家族何人何

商ノ者ニ御座候処イ

多一子無之候ニ付去

何日當村内何番地ニ

於テ有之候棄子貫ヒ

受愛育生長仕度

尤モ病氣等ノ節ハ其

時々御届可申上候

間何卒御聞届ケ被

下度奉願上候

何郡何村何番地

月日 何之誰印

Handwritten text in cursive style, including a circular seal at the bottom right.

印紙

何某印

⑤ 手附金……

何

何

何

何

何

何



前書之通……

貴受所住戸長

何之某印

捨子有之所長

何之誰印

郡長宛

④旅券願

一私美何月日ヨリ何

々ノ為何府縣下へ罷

前書之通……  
 貴受所住戸長  
 何之某印  
 捨子有之所長  
 何之誰印  
 郡長宛  
 ④旅券願  
 一私美何月日ヨリ何  
 々ノ為何府縣下へ罷

此項之通……  
 貴受所住戸長  
 何之某印  
 捨子有之所長  
 何之誰印  
 郡長宛  
 ④旅券願  
 一私美何月日ヨリ何  
 々ノ為何府縣下へ罷

何之誰印  
 捨子有之所長  
 何之某印  
 郡長宛  
 ④旅券願  
 一私美何月日ヨリ何  
 々ノ為何府縣下へ罷

伊集

越シ凡何十日間往来

致候ニ付旅券御渡シ

方奉願候也

何縣下何国郡何

村番地

華士族平民業

月日 何之誰印

外務省何府縣

御中

何之誰印

④建家券渡シ

証

何府縣何郡何町村何番地

一建家券を所

何之誰印  
 建家券を所  
 何府縣何郡何町村何番地  
 華士族平民業  
 月日 何之誰印  
 外務省何府縣  
 御中

但一建家券を所  
 何之誰印  
 建家券を所  
 何府縣何郡何町村何番地  
 華士族平民業  
 月日 何之誰印  
 外務省何府縣  
 御中



右之通相違無之候也

戸長

何某印

⑤地券書替願

何國何郡何村之内

地券証第何号

何番  
字何

一田何反何畝何歩

此地代金何程

書之別列多候之由引書置候

此代金何百両也

右之通相違無之候也

貴殿之書置候一之受取書也

右代領者書置候一之受取書也

尤之由引書置候一之受取書也

右之通相違無之候也

引書置候一之受取書也

中右之通相違無之候也

何府縣何郡何村何地

何之何

何之何

何某印

右之通相違無之候也

何某

前書之通相違無之候也

何番 字何
一畑、、、、
此地代金何程
一宅地、、、、
此地代金何程
右之地所私所持罷リ
在候處此度私名前退
幾男誰ヲ以テ跡式相
續為致候ニ付右誰ノ

交通用紙















何月何日  
ヨリ止宿

何之誰  
何年何月

右先般私方へ止宿罷

在候処本日日出立仕リ

候ニツキ此段御届申

上候也

何郡何村番地

月日 何之誰印

警察署宛

何府何國何郡何

何誰兄弟

何之誰

何年何月生

華士族平民

何誰兄弟

何之誰

何年何月生

華士族平民

留為致度条此段御

去年貢度入替等申度者  
を以てお納め作結末何程  
何月何日  
中ノ美一本人為支  
引度了段留候  
證書候申出件

何府縣下何郡何村番地

何誰

何人 何某

何誰度

公債證券賣渡之証

印紙

公債證券

何人

何因

何者



交通用文

届ケ申上候也

何郡何村番地

月日 何某印

前書之通

戸長

何之誰印

① 止宿人死亡届

何郡何国

...

華士族平民

何之誰

何年何月

右之者何用ノ為メ去

ル何月何日ヨリ私方へ

止宿為致候本日午前

何時頃病死仕候ニッ

キ則別紙医師診断

書相添此段御届テ

交通用文

書換代償金何子目也

右書抄者所持之公債証券

おのり通令般多倍之生息

簿り簿一書面代償金之取

中山支店心也此上之証券

前書書換之り尤願申上り

何の委託状より直書書替

長坂右委託状引換御書お渡

下中

何府縣區郡町村番地

何某



何府縣區郡何町村

何之誰

① 二重抵當之証

証

一人金何百何拾也

但利是下月



申上候也

何郡何村番地

月日 何誰印

前書之通、、、、

戸長

何之某印

㊦ 落失物届

一私義何々ノ事故ニツ

キ午前何時頃ヨリ何

右書入物

何郡何村何番地字何々

一田畑何及何畝何歩

右ノ地者何所ヨリ田畑者何何

月何日何何何何何何何何何

百圓借用致置々交右見四々代

書何々何々何々何々何々何々

上々々々々々々々々々々々々々

町へ罷越候途中何

町ヨリ何町マデノ間ニオ

イテ左之品物落失仕

候

一何品 何点

一何品 何程

又何点

右之通相違無御座ニ

付此段御届ケ申シ上

右借用及交確実地何々何々

何年何月何日何リ何利何々何々

日限何々何々何々何々何々何々

右ノ土地何所ヨリ何所ヨリ何所

何所ヨリ何所ヨリ何所ヨリ何所

何府縣區郡何所村番地

書何々何々何々何々何々何々

何々何々何々何々何々何々



候也

何部何町番地

月日 何某印

③拾七物届

一私義何用ニツキ本日

午前何時頃何部何町

ニテ拾ヒ取り候品物

持参即左ニ

一何々

何之誰及

④ 諸取書式六例

一書籍何拾冊

右之落手如

覚

一薦包

一合羽包

何箇

何箇

一何々

メ何点

右之通御届ヲ申上候

也

何部何町番地

月日 何之誰印

前書之通……

右戸長

何之某印

右通軍人會社を以て差立也

記

一筆筒

兼備

一長持

兼備

右便船を以て送迎西之落手也

修

一人金百五拾系也

右之何是代修……

通月

百三十三



警察署宛

普請落成届

一何年何月何日奉願

置候何々普請落成

仕り候間此段御届

申上候也

何郡何村番地

月日 何之誰印

前書之通……

以多片也

証

云来何石何斗也

但…

右…

印紙

一朝鮮綿釋

何債

右…

戸長

何之誰印

郡長宛

紛失物届

一私美何商ノ者ニテ本

日午前何時頃何々

吏故ニキ何處ノ何ノ

誰方ハ罷越候処

板戸懸金焼切有之全

通用文

記

何品

肉何

何種

右…



願届書式 大尾	月日 何誰印	段御届々申上候也	右、通相違無之ニツキ此	代價凡金何日也	一何品 何点	則紛失ノ品左ニ申上候	早速家内其外取調	盗賊ノ所業ト奉存
---------	--------	----------	-------------	---------	--------	------------	----------	----------

普通文 交通用文 大尾  
 何々集  
 何々集  
 何々集

版権所育

明治廿三年八月三日印刷  
 全 年八月四日出版

著作者兼 發行者 藤谷暢吾  
 大阪市東區内本町二丁目百卅九番屋敷  
 印刷者 奥村忠三郎  
 大阪市南區鍛冶屋町二百卅八番屋敷  
 發賣者 岡本仙助  
 大阪市東區北久太郎町甲丁目百六番屋敷  
 全 岡本支店  
 大阪市南區心齋橋通塩町北八



